

TerraSlave

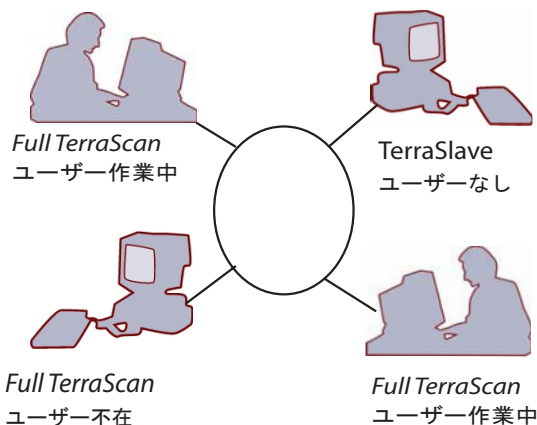
for Windows NT/2000/XP

LAN上でのPC間のタスク共有によりこれまで以上の処理容量が実現

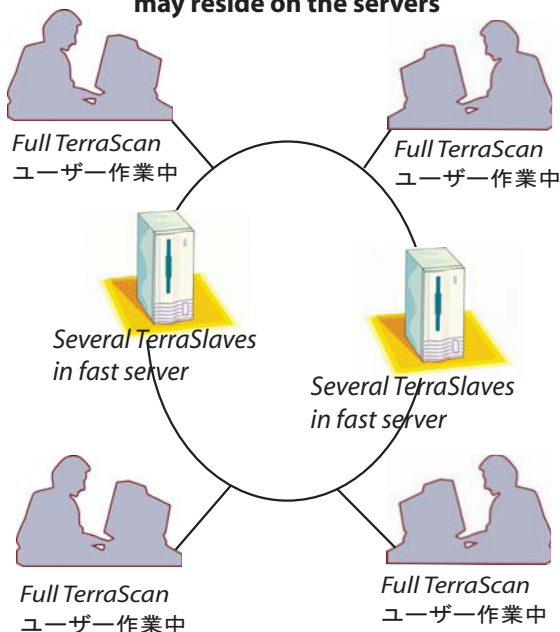
航空機レーザースキャニングシステムは、1秒あたり30,000~150,000点を取得します。計測プロジェクトのサイズは1000万~500億点間で変動します。レーザータに加えて、データセットはしばしば計測間で取り込んだデジタル画像を含んでいます。画像は、レーザータより更に多くのディスクスペースを必要とします。典型的なプロジェクトである10億のレーザータ点群では、レーザータ点群のサイズは24GBで、画像のサイズは120GBです。データの大部分は1台のPCの処理容量の限界ラインです。

TerraSlaveは、別々のPC間、またはネットワークサーバー間でタスクを共有処理するために最適化されたソリューションです。マクロを定義し、TerraScan、TerraPhotoまたはTerraMatchのフルバージョンのブロックヘッダデータを割り当てます。そして、TerraSlaveでバッチ処理するためにLAN上にデータとタスクを割り当ててください。TerraSlaveは作業能力を向上させるだけでなく、MicroStationのグラフィカルインターフェイスを必要としないためそれに係る費用も軽減します。

Option 1: Active users can use all free workstations for batch processing



Option 2: Powerful processors and all data may reside on the servers



MicroStationの限界がないため、ハードウェアの機能がアップ

TerraSlaveの最初のバージョンは、TerraScanをインストールしたコンピュータでプロジェクトレベルのマクロを実行します。TerraSlaveによって処理を始めた後、すぐにMicroStationを開放しますので、TerraScanまたは他のアプリケーションで作業を継続することが可能です。今後のバージョンでは、別のコンピュータを動作させることが可能となり、以下の機能を提供します。

- 分割処理をサポート
- TerraScanへプロジェクトへの点群のインポート
- プロジェクトレベルからのラスターイメージ出力
- 点群の出力
- TerraPhotoでのオルソフォト修正の実行
- TerraMatchでのソリューション検索の実行

分割した処理は、MicroStationベースのアプリケーションより多くのメモリを使用して、いくつかのタスクを順番に処理することができます。

TerraSlaveの開発はMicroStationの32ビットOSの限界から進展します。64ビットOSとデュアルコアプロセッサのような新しいハードウェア技術のためにもそれを最適化することが必要です。

TerraSlaveのリモートバージョンは、以下の作業管理ツールを提供します。

- タスクの監視
- 処理順序からタスクを取り除き
- タスクの状態をコントロール：ストップ、再開、削除
- 同じまたは異なるデータセットを処理するタスクの順序付け。但し、別々のPCは同時に同じデータを処理することはできません。
- タスクのスケジュールを定義
- レポートの作成と表示

 **Terrasolid**
email: info@terrasolid.fi <http://www.terrasolid.com>

MicroStation is a registered trademark of Bentley Systems. Windows NT, 2000 and XP are trademarks of Microsoft Corporation. All other brands and product names are trademarks of their respective owners. Terrasolid Ltd. believes the information in this publication is accurate as of its publication date. The information is subject to change without notice.

日本総代理店 株式会社みるくる
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト22F
TEL.03-4360-5557 FAX.03-4360-5790 <http://www.mirukuru.co.jp/>